



令和5年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年2月10日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4097 URL <https://www.koatsugas.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木幹也
問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)池田佳弘 (TEL)06-7711-2570
四半期報告書提出予定日 令和5年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	67,752	11.4	3,915	5.4	4,503	6.2	3,063	△0.5
4年3月期第3四半期	60,808	8.2	3,714	20.2	4,239	21.0	3,080	29.8

(注) 包括利益 5年3月期第3四半期 2,931百万円(0.0%) 4年3月期第3四半期 2,928百万円(△26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	55.49	—
4年3月期第3四半期	55.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
5年3月期第3四半期	103,258	67,945	65.1
4年3月期	98,400	65,901	66.3

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 67,298百万円 4年3月期 65,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
4年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
5年3月期	—	8.00	—	—	—
5年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 令和5年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	5.4	5,100	8.0	5,600	3.6	3,800	△8.4	68.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

5年3月期3Q	55,577,526株	4年3月期	55,577,526株
5年3月期3Q	373,494株	4年3月期	373,450株
5年3月期3Q	55,204,058株	4年3月期3Q	55,204,251株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第3四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで経済活動の正常化が進み、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、サプライチェーンの制約やロシア・ウクライナ情勢に端を発した資源価格等の高騰、また、急激な為替相場の変動などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は677億52百万円（前年同期比11.4%増加）、営業利益は39億15百万円（前年同期比5.4%増加）、経常利益は45億3百万円（前年同期比6.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億63百万円（前年同期比0.5%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、半導体、自動車、建設など仕向け先への需要が回復せず、更に原材料価格の高騰が続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、生産・販賣体制の見直しを行ない、地域に密着した営業に努めてまいりました。また、カーボンニュートラル社会実現に向け、環境負荷の低い液化アンモニアや水素ガス等の供給網整備や溶解アセチレンを用いた新素材の研究開発を進めております。

『溶解アセチレン』は、建設・土木関連の現場及び造船業界向けの出荷数量が減少したものの、原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、全般的に出荷数量は減少しましたが、原材料価格の高騰による価格改定やアルゴンが現場工事及びスポット需要の獲得、エアゾールガスが新規獲得、また、LPガス等の石油系ガスでは輸入価格の高騰に伴う販売価格の上昇によりそれぞれ増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が回復し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、消火設備装置向け容器の需要回復と原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は497億21百万円（前年同期比11.4%増加）となりました。営業利益は42億50百万円（前年同期比29.6%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料価格の高騰や、供給制限、供給不足が続く厳しい状況で推移しました。このような事業環境のなか、当事業では仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが木工用が減少したものの、塗料用及び紙用が新製品の開発により増加、シアノンが南米向けが減少したものの、北米向け高機能品が増加、また、韓国・東南アジア向けコンシューマー用の需要が増加、ペガロックが海外向けが中国主要都市のロックダウンの影響により需要が減少、また、国内向けが住宅設備関係の需要が減少しました。売上高は接着剤全般の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や「ビーズコートシリーズ」の伸長や塗料製品の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり増加し、また、エアゾール製品は需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は156億59百万円（前年同期比12.1%増加）となりました。営業利益は度重なる原材料価格の上昇の影響を大きく受け6億92百万円（前年同期比47.6%減少）となりました。

③ その他事業

その他事業は、LSIカード関連の需要が減少したものの食品添加物の需要が増加し、価格改定もあり前年同期を上回り、売上高は23億71百万円（前年同期比6.3%増加）、営業損失は56百万円（前年同期は21百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ48億57百万円増加して1,032億58百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が減少したものの、売上債権が増加し前連結会計年度末に比べ18億67百万円増加して、568億43百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価が値下がりとなり株式売却により減少したものの有形固定資産が増加したことにより前連結会計年度末に比べて29億89百万円増加し、464億14百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億13百万円増加して353億12百万円となりました。流動負債は、仕入債務の増加や長期借入金から1年内返済予定の借入金の振替により前連結会計年度末に比べ25億15百万円増加し、281億97百万円となりました。固定負債は、1年以内返済予定の長期借入金の振替があったものの、長期借入金の融資実行により前連結会計年度末に比べ2億98百万円増加し、71億14百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ20億44百万円増加して679億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、令和4年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,969	22,561
受取手形及び売掛金	21,067	21,879
電子記録債権	4,308	5,750
商品及び製品	2,944	3,306
仕掛品	613	847
原材料及び貯蔵品	1,631	1,940
その他	555	619
貸倒引当金	△115	△60
流動資産合計	54,975	56,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	12,698
機械装置及び運搬具（純額）	3,583	4,555
土地	14,990	15,281
建設仮勘定	2,041	1,609
その他（純額）	1,192	1,244
有形固定資産合計	31,649	35,389
無形固定資産	691	643
投資その他の資産		
投資有価証券	9,862	9,084
繰延税金資産	187	114
その他	1,084	1,273
貸倒引当金	△51	△90
投資その他の資産合計	11,083	10,382
固定資産合計	43,424	46,414
資産合計	98,400	103,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,923	12,162
電子記録債務	7,642	8,549
短期借入金	1,305	1,255
1年内返済予定の長期借入金	10	1,120
未払法人税等	1,331	270
賞与引当金	1,255	713
その他	3,213	4,126
流動負債合計	25,681	28,197
固定負債		
長期借入金	4,634	4,882
退職給付に係る負債	7	86
役員退職慰労引当金	24	23
繰延税金負債	1,440	1,408
その他	710	714
固定負債合計	6,816	7,114
負債合計	32,498	35,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	56,038	58,219
自己株式	△200	△200
株主資本合計	61,535	63,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,643	3,193
為替換算調整勘定	13	284
退職給付に係る調整累計額	93	104
その他の包括利益累計額合計	3,750	3,582
非支配株主持分	615	647
純資産合計	65,901	67,945
負債純資産合計	98,400	103,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	60,808	67,752
売上原価	43,748	49,846
売上総利益	17,060	17,905
販売費及び一般管理費	13,346	13,990
営業利益	3,714	3,915
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	244	265
為替差益	51	94
受取手数料	64	64
その他	377	374
営業外収益合計	742	805
営業外費用		
支払利息	17	21
その他	200	196
営業外費用合計	217	217
経常利益	4,239	4,503
特別利益		
投資有価証券売却益	439	119
その他	5	—
特別利益合計	445	119
税金等調整前四半期純利益	4,684	4,622
法人税、住民税及び事業税	1,334	1,285
法人税等調整額	242	237
法人税等合計	1,577	1,522
四半期純利益	3,106	3,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,080	3,063

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	3,106	3,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△300	△451
為替換算調整勘定	107	271
退職給付に係る調整額	14	10
その他の包括利益合計	△178	△169
四半期包括利益	2,928	2,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,910	2,895
非支配株主に係る四半期包括利益	18	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,615	13,963	2,228	60,808	—	60,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	44,615	13,963	2,228	60,808	—	60,808
セグメント利益	3,277	1,322	21	4,620	△906	3,714

(注) 1 セグメント利益の調整額△906百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,721	15,659	2,371	67,752	—	67,752
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	49,721	15,659	2,371	67,752	—	67,752
セグメント利益 又は損失(△)	4,250	692	△56	4,886	△970	3,915

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△970百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。